

## 1952年 Cub F カブ号 F型

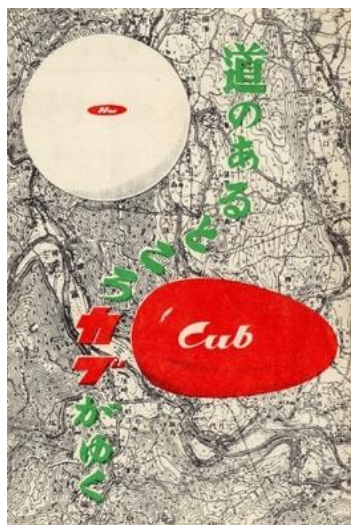
A型の後継モデルとして開発された自転車用補助エンジン「カブ号F型」。

軽量化を図るとともに、後輪左側に取り付けて重心位置を下げることで、操縦安定性を高めました。また、動力伝達方式は、従来のベルトに代えて伝達効率に優れたドライブチェーンを採用。さらに、エンジンは鮮烈な赤、丸い燃料タンクは白のカラーリングとすることで、ひときわ目を引くデザインとしました。さまざまなタイプの自転車に利用できるよう、取付け部品にも創意工夫を凝らしています。

品質と信頼性を確実なものとするため、1952年10月から約4か月間にわたり、埼玉工場から箱根峠を越えて浜松までの走行テストを実施。このテストは、22往復、延べ12,000キロ以上を走るという過酷なものでした。

### 主要諸元

価格	25,000円
エンジン形式	2ストローク単気筒
排気量	50cc
重量	6kg
最高出力	1ps/3,600rpm
燃料タンク容量	2L



当時のカタログより